



## 『個別化健康・治療管理の未来』@日本橋 ～ E ヘルス技術を活用した高齢者ケア～

高齢者人口の急激な増加は、ヘルスケアシステムへの負担を高めています。そして、この問題にどう対処していくかは、世界的にも大きな課題となっています。今回のラウンドテーブルでは、Eヘルス技術を活用することにより、高齢者ケアにおいて、個人レベル、あるいは、ヘルスケアシステムそのもにかかる重圧をどのようにして軽減させていけばよいか、ということに焦点をあてたお話しをしていただきます。最先端の技術とは何か？ 次なるステップは？ 日本・デンマーク両国で、この課題に取り組むためには、JD TeleTech 内でどのように協力し合っていけばよいか？ 等々、ラウンドテーブルにお越しの皆様とともに、議論を深めていただきたいと思います。

なお、今回のラウンドテーブルは、今年4月に行われました『個別化健康・治療管理の未来』～日本・デンマーク両国のEヘルス技術の新領域～の続編です。

\*\*\*\*\*

主催：デンマーク大使館

協賛：一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン(LINK-J)  
デロイト トーマツ ヘルスケア（モニターデロイト、有限責任監査法人トーマツ）(予定)

日時：令和1年12月4日(水) 17:00-20:30 (ネットワーキングイベントを含む/受付 16:30 より)

場所：東京都中央区日本橋本町 2-3-11 日本橋ライフサイエンスビルディング 2階 201  
(ネットワーキング： 同ビルディング 10階ラウンジ)



参加費：

無料

お問い合わせ先：デンマーク大使館 Invest in Denmark 飯田留美  
rumiid\*\*um.dk (メール送付の際は\*\*を@にご変更ください) 定員約 60 名、締め切り **11月28日**

お申込み：[2019年12月4日\(水\)デンマーク大使館主催ラウンドテーブル 申込書](#)

\*) セッションは英語で行われます。

\*) 都合によりプログラムが一部変更される場合がございますのでご了承ください。

.....

司会:

Ms. Birthe Dinesen, PhD, Professor & Head of Laboratory for Welfare Technology - Telehealth & Telerehabilitation, Department of Health Science and Technology, Aalborg University

<ラウンドテーブル参加者 (登壇順)>

デンマーク側 :

- 1) Mr. Niels Ejkskjær, Clinical Professor & Chief Physician, Departments of Endocrinology, Clinical Medicine and Steno Diabetes Center North Denmark, Aalborg University Hospital, Aalborg
- 2) Mr. Jens Refsgaard, MD, PhD, Chief physician & Head of Department of Cardiology in Viborg, Regional Hospital
- 3) Ms. Malene Hollingdal, MD, PhD at the Department of Cardiology, Regional Hospital, Viborg
- 4) Mr. Claus Rehnfeld, Chairman, Vital Beats
- 5) Mr. Lars Dittmann, PhD, Professor & Head of Communication Technology Section, Technical University of Denmark, Copenhagen
- 6) Mr. Jesper Thomsen, CEO, DoseSystems
- 7) Ms. Hanna Ekman, Manager, Open Telehealth
- 8) Mr. Hannu Martikainen, Manager, Open Telehealth

日本側 :

- 1) 聖路加国際大学看護学研究科老年看護学・教授 亀井智子 先生
- 2) 東京大学大学院情報理工学系研究科・教授 橋田浩一 先生
- 3) 順天堂大学脳神経内科・准教授 大山彦光 先生
- 4) HiSC Nordic ApS 常務 畑雅之 様
- 5) 理化学研究所革新知能統合研究センター 認知行動支援技術チームリーダー 大武美保子 先生
- 6) 東京大学・教授 松本吉央 先生

\*\*\*\*\* プログラム \*\*\*\*\*

17:00 開会挨拶

デンマーク大使館・公使参事官(Health 担当) Mr. Joakim Steen Barron-Mikkelsen

17:05 LINK-J のご紹介

17:10~ プレゼンテーション (5~10 分毎・デンマーク人と日本人が交互に行います)

1. **"Elderly care & eHealth - what are the challenges and what is the state-of-art"** by Clinical Professor & Chief Physician Niels Ejkskjær
2. **"Chronic disease management for older adults using home-telemonitoring"**  
聖路加国際大学 亀井先生
3. **"Future Patient - telerehabilitation for patients with Heart Failure"** by Dr. Jens Refsgaard & Dr. Malene Hollingdal
4. **"Decentralized Polypharmacy Management"**  
東京大学 橋田先生
5. **"Introduction of Vital Beats"** by Mr. Claus Rehnfeld, Chairman, Vital Beats
6. **"Ehealth for patients with Parkinson"**  
順天堂大学 大山先生

7. **"Challenges using IoT devices in care of elderly in their homes"** by Professor Lars Dittmann
8. **"Patient centered approach for diabetes care on early phase symptoms by "Tele nonverbal communication" through the lifelog system"**  
HiSC 畑様
9. **"Digital administration of medicine for elderly"** by Mr. Jesper Thomsen, CEO, Dosesystems
10. **"Cognitive behavioral assistive systems for interactive communication of older adults"**  
理化学研究所 大武先生
11. **"Remote Patient Monitoring in Elderly care"** by Ms. Hanna Ekman, Manager & Mr. Hannu Martikainen, Manager, Open Telehealth
12. **"Development and introduction of robotic devices for elderly care in Japan"**  
東京大学 松本先生

19:00 頃より Discussion (フロアーの方も交えて)

19:45~ ネットワーキング

20:30 閉会

-----

<追記>

JD TeleTech Network (JD は Japan-Denmark の略)

正式名称は、Japanese & Danish Research Network on Telehealth/Telerehabilitation and Welfare Technologies 以下のことを目標としている。 . . .

- 新しい技術を用いることにより、慢性疾患に悩む人々の quality of life の向上に努める
- ヘルスケア専門家のワークフローのを簡易化させ慢性疾患に悩む人々との協力をしやすくする
- 新しい telehealth/telerehabilitation および welfare 技術の開発、試験、評価において、日本・デンマーク両国の大学・病院・地方自治体・企業間で協力関係を図る
- 日本・デンマークの官民パートナーシップを元に、診断、治療およびリハビリを目的とした新しい製品、メソッド、ソリューションの開発を促進させる

JD TeleTech Network は、本年 4 月に日本にて、6 月にはデンマークにてラウンドテーブルおよびワークショップを行っている。